

城のある都市復活

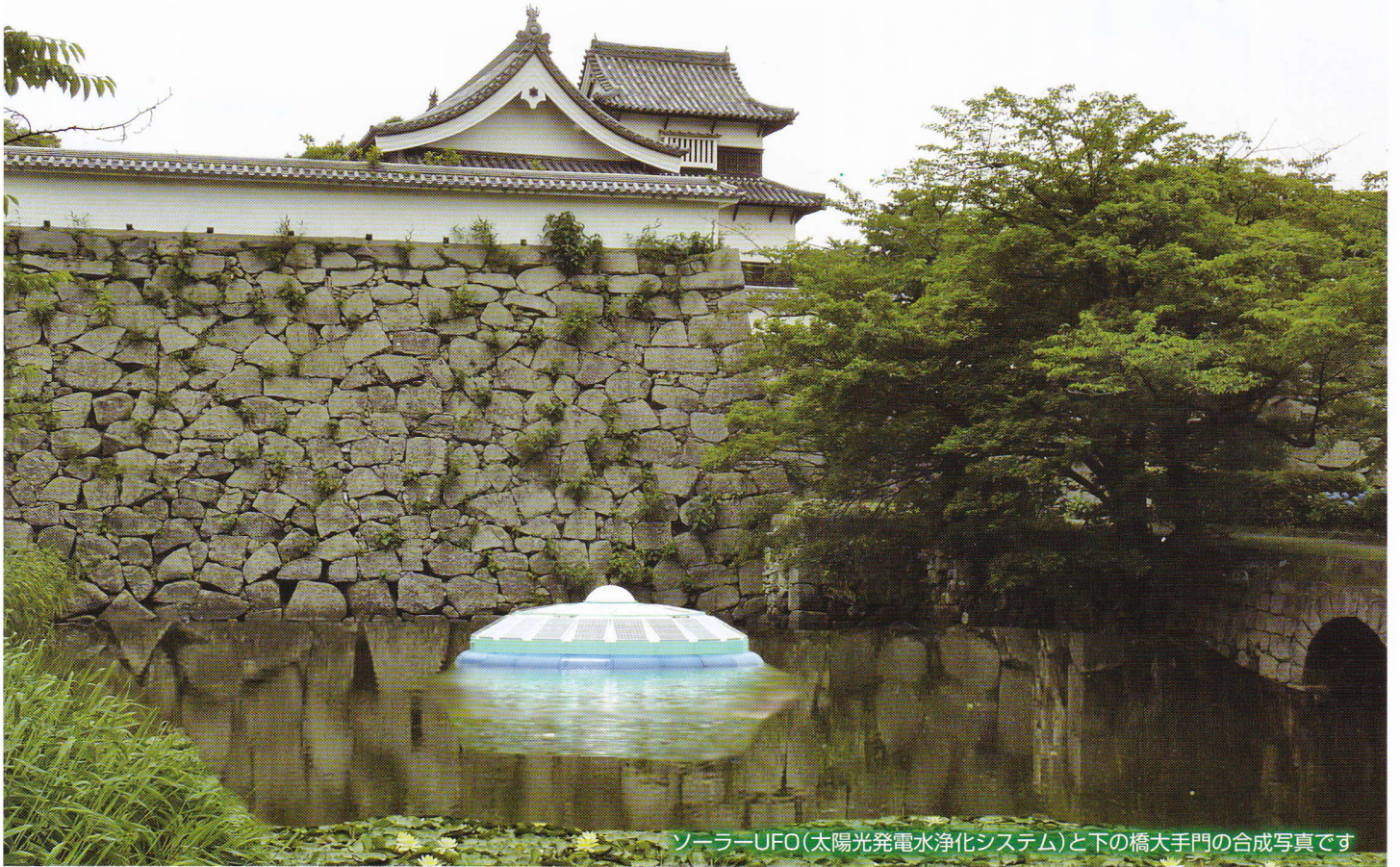
# 福岡城だより

2011.7

JULY

No. 30

福岡城を探访？下の橋大手門に UFO 来たる！



ソーラーUFO(太陽光発電水浄化システム)と下の橋大手門の合成写真です

## 歴史・文化遺産を活かした 観光振興

福岡県知事 小川 洋



福岡は、古くからアジアと深いつながりがあり、古代の迎賓館である「鴻臚館」跡などアジアとの交流を物語る数多くの文化遺産が点在しています。私は、これら

を魅力ある観光資源として、国内はもとより、広く海外に発信していくことが大変重要であると考えています。幸い本県には、九州国立博物館や九州歴史資料館など貴重な文化財を紹介できる環境が整っています。県としては、今後も九州観光推進機構と連携し、アジア地域をターゲットとして一層の観光客誘致を図ってまいります。

今年は、長年の悲願でありました九州新幹線が全線開通しました。時間距離の大幅な短縮により、九州はもとより本州各地域との観光やビジネス、文化の交流が一層活発になります。これを機に、多彩な観光資源を備えた本県の魅力を多くの皆さんに堪能していただきたいと考えています。

「鴻臚館・福岡城跡・歴史・観光市民の会」の皆さまにおかれましては、「鴻臚館」跡や「福岡城」跡に関するイベントの開催や、イラスト入りで大変わかりやすく充実した内容の「お城が見える・福岡城跡周辺散策マップ」の作成などに取り組まれ、多くの観光客の皆さんに喜ばれています。このような皆さまの熱心な活動に対し敬意を表しますとともに、貴会がますますのご発展をお祈りいたします。

最後に、東日本大震災が発生してから四か月が経ちました。本格的な復興に至るにはまだ長い道のりが続きますが、福岡県は、皆さまと一丸となって、元気を西から全国に広げていきたいと考えています。今後ともご協力をお願いします。



# 黒田如水・長政親子の九州戦跡 平成二十三年三月二十五日(金)～二十六日(土) 豊臣秀吉の九州征伐戦「豊後・日向路」の合戦地を訪ねて

天正十五年(一五八七) 豊臣秀吉の九州(島津)征討戦に於いて、黒田如水は豊臣秀長軍の「戦う軍師」として参戦し、数々の戦功をあげました。

当時の進軍コースをたどりながら、黒田如水・長政親子の戦跡を訪ねました。

## 一 大友宗麟の居城・臼杵城(豊後・臼杵)

前年、島津軍の来襲を受けたが、大友軍は南蛮渡来の大砲「国崩」で応戦、島津軍を撃退。



臼杵城の南蛮渡来の大砲「国崩」

## 二 島津方の土持氏の居城・松尾城(日向・縣、現延岡市)

三月二十日、土持氏は黒田・毛利軍との激戦にて敗退、その後松尾城には秀吉の九州国割で豊前・香春岳城から高橋元種が入封。

## 三 豊臣秀長軍、耳川にて作戦会議(日向・美々津町)

四月六日、作戦会議後「天下日暮れ」の山を越え西に進み、川上の浅瀬を渡り南下し「高城」「財部城」へ進軍。



耳川の河口(日向・美々津町)

## 四 島津軍と決戦「高城・小丸川・根白坂」(日向・木城町)

秀長軍は、財部から高城までの間に五十カ所の陣営を築き、島津軍との決戦に備える。

四月十日、黒田長政(十九歳)は小丸川にて島津軍と戦い見事勝利を上げる。

四月十七日、黒田軍は根白坂にて島津軍の夜襲を受けたが、これを撃退する。

その後、島津軍の勢いは衰え、ついに五月十九日小林野尻の陣原

にて秀長軍に降伏。



高城と小丸川(日向・木城町)

## 五 黒田如水は、島津氏押さえのため伊東氏を徹底的に支援

六月、伊東氏の居城として曾井城(宮崎市) 大幅拡張の奉行となる。

翌年、伊東氏の飢肥城(日南市) 移転に尽力。



伊東氏 5 万石の居城 飢肥城大手門(日向・日南市)

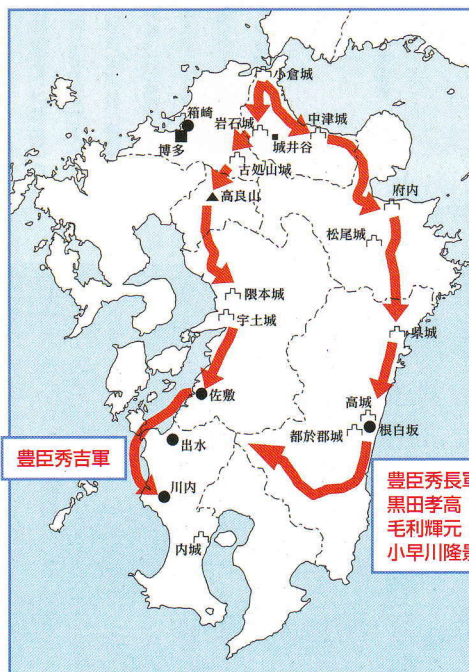
## 歴史探訪バスツアー

黒田如水・長政親子の九州戦跡  
九州の関ヶ原、肥後路を訪ねる!!  
「隈本城・宇土城・麦島城・佐敷城」

慶長5年(1600)、黒田如水は東軍方の隈本城城主加藤清正と連携を密にし、西軍方の諸城を攻略しつつ薩摩大隅を除く九州全土を制圧しました。

日 時 平成23年9月17日(土) 8:00~20:30  
集 合 天神・日本銀行前  
参 加 費 9,000円

お申込み (株)西日本新聞旅行 TEL 092-711-5518  
FAX 092-716-8254



九州平定進軍図

福岡市博物館発行「黒田長政と24騎」より



# 福岡城探訪

## 櫓シリーズ

### (伝) 潮見櫓

終戦後、私達に福岡城らしさを観せてくれたのが、下の橋大手御門横に移築された、通称「潮見櫓」である。明治通りに沿った福岡城の内堀に映る二層の櫓のことで、県の文化財に指定されている。入母屋造りの本瓦葺きで、一・二階とも、漆喰壁に腰下見板張りである。

潮見櫓は、博多湾の潮の干潮を監視して、数馬門と黒門の開閉時を知らせる役割を担い、城の北西角（現簡易保険事務センター地点）に建てられていた。

大正初期に、旧黒田家別邸の浜御殿（現浜の町）に移築されていたが、幸い戦火による焼失を免れ、昭和三十一年に現在の場所に再移築された。

しかし、調査の結果、この櫓は「潮見櫓」ではなく、本丸裏御門にあった「太鼓櫓」ではないかと言われている。

もともと、下の橋大手御門横に櫓があったとは、古絵図にも載っていない。「市教育委員会」も再調査の要ありと言っている。



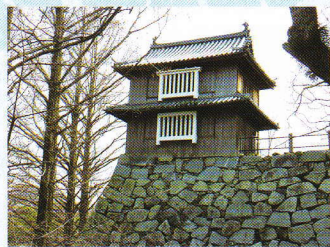
### 祈念櫓

祈念櫓は、福岡城本丸の北東角に位置し、鬼門封じとして僧徒が交替で詰めていた。

大正七年（一九一八年）、黒田家菩提寺である崇福寺が、陸軍から払い下げを受け、末寺である北九州東区の大正寺境内に移築された。観音堂として使用されていたが、昭和五十九年（一九八四年）に現在地に再移築された。

この間の昭和三十二年（一九五七年）には、県の有形文化財（建造物）に指定されている。

しかし、現在の祈念櫓は、古写真と比較すると、花頭窓の様式が失われており、床規模も四分の一位に小さくなったのではないかと考えられている。



### 多間櫓

福岡城の南西に位置する南丸多間櫓は、福岡城に残る唯一の国指定重要文化財（昭和四十六年十二月二十八日指定）であり、江戸時代と同じ位置に残っている櫓は、この櫓だけである。

総延長は、四〇間（約七十二m）、南北両端に二重二階建切妻造の角櫓を持ち、平櫓は多くの小部屋に分かれている。防禦のための実践的な機能を持ち、平時は、倉庫等に利用していたといわれている。

この櫓は、全国櫓ベスト二に位置付けられており、福岡城築城時の特色である、軒下方杖を付けた白漆喰塗りに腰下見板張りの構造を良く観察することができる、貴重な文化財である。

なお、現在のこの櫓は、昭和五〇年（一九七五年）に、解体、復元されたものである。

（記 福岡市民の会事務局 岡部定一郎）

角櫓と平櫓



平櫓

## 福岡城どんたく 演舞台

福岡城・市民の会主催  
読売新聞西部本社特別協賛

今年のどんたくは、東日本大震災の方々を応援する気持ちを「がんばろう!! 日本」のメッセージを込めて開催しました。

五月三日、黒田藩伝・柳生新影流兵法、母里忠一氏により奉祝され、樽鏡開きからスタートしました。

五月四日は、黒田長高様ご家族とお越しになり博多松囃子、稚児東流れに一束一本を、渡していただきました。十四時からは博多笑い塾の参加により賑やかなステージがくりひろげられ、最後は博多祝いうた、博多手一本にて幕を閉じました。





# NPO法人 福岡城市民の会 第7回総会開かれる

平成23年6月15日開催の第7回総会に於いて下記の事項が承認されました。

## 平成22年度事業報告書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

### 1. 事業の成果

鴻臚館・福岡城を生かした地域活性化と、その復元・整備を目指し、イベント開催や研究・啓発事業など、下記活動を積極的に実施した。

特に、昨年度末から始まった「福岡城活用に関する官民共働勉強会」のコアメンバーとして参加し、積極的に福岡城の復元・整備活動にむけての活動を行った。

また、10月2日福岡市中央市民センターホールにて「甦る福岡城—福岡のシンボルになるか」と、題して市民フォーラムを開催し、市民意識の高揚を図るために福岡城再建整備の機運を大いに盛り上げた。

### 2. 事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
イベント開催	観覧の宴	3月	福岡城跡	30人	中止	0
イベント開催	どんたく舞台	5月	福岡城跡	50人	市民15,000人	5,311
イベント開催	観月の宴	10月	福岡城跡	50人	中止	0
研究・啓発	史跡探訪バスツアー	8月/年	中津島ほか	3×6回	30×6回	0
研究・啓発	福岡歴史観光市民大学	6月~11月	よみうりプラザ	4×30回	市民100×30回	970
	委託販売書籍	随時	事務所	2人	25人	28
	機関誌発行	4回	事務所		3,000部×4回	707
	資料制作	3月	事務所		3,000部	600

#### (2) その他の事業

該当なし。

## 平成22年度実績及び平成23年度予算

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

科 目	22年度実績	23年度予算
I 経常収入の部		
1 会費収入	2,416,000	2,300,000
受取寄付金	572,968	500,000
2 事業収入		
イベント関係事業		
観覧の宴		100,000
どんたく舞台	5,153,164	5,300,000
観月の宴		200,000
史跡探訪バスツアー	100,000	150,000
研究啓発事業		
福岡歴史観光市民大学	1,115,560	1,000,000
古代官道(受託事業)	66,100	
資料制作費	500,000	
委託販売書籍	30,700	
機関誌発行		
3 その他事業会計からの繰入		
経常収入合計	9,954,492	9,550,000
II 経常支出の部		
1 受取寄付金		500,000
2 事業費		
イベント関係事業		
観覧の宴		100,000
どんたく舞台	5,311,519	5,300,000
観月の宴	0	200,000
史跡探訪バスツアー		50,000
研究啓発事業		
福岡歴史観光市民大学	969,976	800,000
古代官道(受託事業)		
資料制作費	600,000	
委託販売書籍	28,392	
機関誌発行	706,594	450,000
2 管理費	1,883,416	1,940,000
3 予備費	0	210,000
経常支出合計	9,499,897	9,550,000
経常収支差額	454,595	0
III その他資金収入の部		
1. 受取利息	763	
2. 雑収入	29,852	
その他資金支出合計	30,615	
当期収支差額	453,210	0
前期繰越収支差額	3,140,965	3,626,175
次期繰越収支差額	3,626,175	3,626,175

## 平成23年度事業計画書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

### 1. 当会の活動理念について

当会は、福岡市の中心部に存在する貴重な市民の大形歴史遺産である鴻臚館・福岡城跡の保存活用と伝統文化の伝承・育成を図り、同時に現状で改善可能な整備を推進することにより、その潜在的な価値を顕在化させ、観光資源と市民憩いの場として活かすため、関係箇所や幅広い市民とともに行動して社会に貢献しようという趣旨の会である。地域や当会を取り巻く環境も変化するなか、NPO認定6年を迎え、本年は発想新たに取り組んでいきたい。

### 2. 事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額(千円)
イベント開催	観覧の宴	3月下旬	福岡城跡	30人		100
イベント開催	どんたく舞台	5月上旬	福岡城跡	50人	市民15,000人	5,300
イベント開催	観月の宴	9月中旬	福岡城跡	50人		200
研究・啓発	史跡探訪バスツアー	5回/年	福岡歴史観光市民大学	3×5回	市民40×5回	50
研究・啓発	福岡歴史観光市民大学	6月~11月	よみうりプラザ	5×20回	市民100×20回	800
調査・研究	福岡城跡の整備に係る事業					500
	機関誌発行	4回/年	事務所		3,000部×4回	450

#### (2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額(千円)
基金活動事業	個人・団体への基金活動	随時	随時	若干名	若干名	見込額計上せず

## 定款の変更

### 第1章 第1条(名称)

この法人は、NPO法人鴻臚館・福岡城歴史・観光・市民の会と称し、略称を福岡城市民の会という。

### 第4章 第13条(種別及び定数)

#### (1) 理事12人以下

理事のうち、1人を理事長とし、副理事長を置くことができる。

### 第4章 第16条

前項の規定にかかわらず、後任の役員が選任されない場合は任期の末日後最初の総会が終結するまでその任期を延長する。

### 第8章 第53条

この法人が解散(合併又は破産による解散を除く)したときに残存する財産の帰属すべき者は、法第11条第3項に掲げる者のうち、解散時の総会で決める。

## 総会報告

### NPO法人

鴻臚館・福岡城跡歴史・観光・市民の会

日時 平成23年6月15日(水曜日)

14時~16時

場所 読売新聞社西部本社1F

よみうりプラザ

### 審議事項

#### 第1号事案

5月26日(木)の理事会を経て総会が開催され、無事終了したことを会員の皆様にご報告します。今回は総会終了後、池田平太郎氏により「黒田家と江」の特別講演があり、多くの方々が出席されました。

## 理事改選について

役 名	氏 名	事 項
理 事 長	石 井 幸 孝	再 任
理 事	各 務 章	再 任
理 事	稲 貝 大三郎	再 任
理 事	岡 部 定一郎	再 任
理 事	高 倉 清 子	再 任
理 事	西 憲一郎	再 任
理 事	津 田 慶 一	再 任
理 事	毛 屋 嘉 明	新 任
理 事	川 野 正 雄	新 任
理 事	久 留 百合子	新 任
監 事	仁 田 辰 治	再 任
顧 問	小 川 洋	福岡県知事
顧 問	高 島 宗一郎	福岡市長
顧 問	阿 部 浩 幸	福岡商工会議所会頭
顧 問	黒 田 長 高	黒田家(16代)

## 編集後記

6月15日の当会・総会は提示議案通り議決され、無事終了いたしました。新たな試みとして総会後に講演「黒田家と江」が開催され、会員の方々の人気を呼びました。

23年度の事業・第4回市民大学も多数の受講希望者があり、6日より開講しています。今後、いろいろ市民の会としてチャレンジしていきたいと思っております。

会員の皆様方の更なる応援をお願い申し上げます。

## 編集・発行 鴻臚館・福岡城跡歴史・観光・市民の会

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-12-15 読売福岡ビル7階

TEL 092-716-8238 FAX 092-716-8254

HPアドレス <http://fukuokajokorokan.nngo.jp/>

E-mail [fukuokajo@tos.bbq.jp](mailto:fukuokajo@tos.bbq.jp)

[デザイン・印刷] 城島印刷株式会社

福岡城市民の会

検索



毛 菅 原 丸

屋 野 田 田

嘉 充 幸

明 実 雄 一

※ ※

※ 中 石 久

島 橋 留

正 孝 百 合 子

和 志 ※

※ ※

許 吉 赤 太 松 渡

斐 田 尾 田 枝 邊

恵 三 宣 敦 聖

登 子 樹 子 子 太

石 檜 大 中 高

松 原 串 山 橋

弘 正

子 檀 博 茂 勉

一般会員(個人)

新規会員名簿(平成23年6月30日現在)